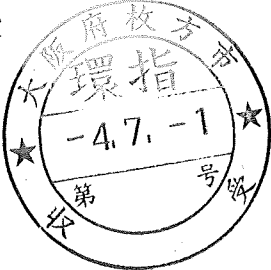


産業廃棄物処理計画書

令和4年（2022年）6月 30日

枚方市長 殿



提出者

住 所 枚方市中宮大池1丁目1番1号

氏 名 株式会社クボタ 枚方製造所
所長 金 本 吉 郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-840-1021

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社クボタ 枚方製造所
事業場の所在地	枚方市中宮大池1丁目1番1号
計画期間	令和4年（2022年）4月1日～令和5年（2023年）3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	26:生産用機械器具製造業
②事業の規模	製造品出荷額：239,110 百万円／年（2021年4月～2022年3月実績）
③従業員数	1,474人（2022年4月現在）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙参照

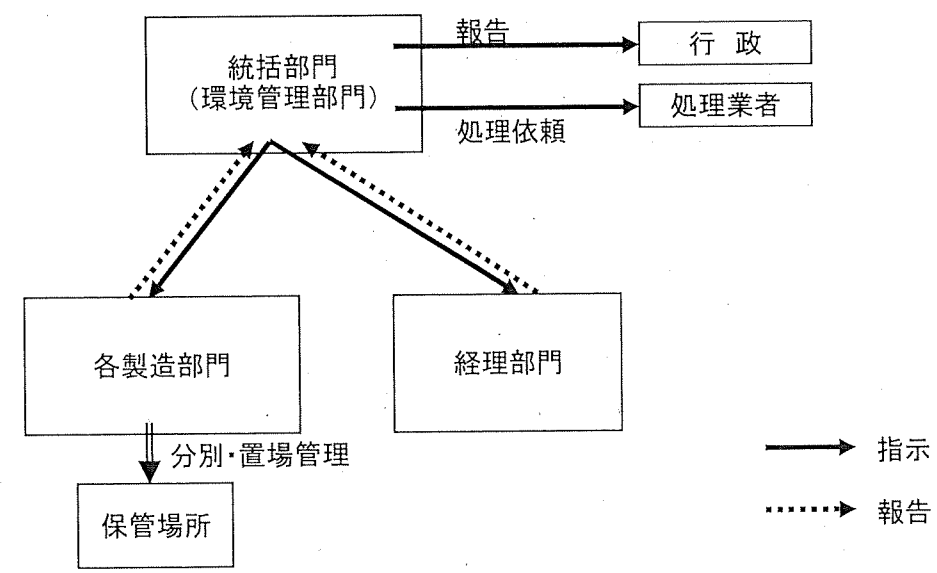
産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項				
(管理体制図) 別紙のとおり				
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項				
①現状	【前年度（令和3年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	排出量	別紙のとおり	t	t
	(これまでに実施した取組) ・廃油（廃油、廃シンナー）の有価物化 ・ガラス陶磁器くず（廃レンガ）の有価物化 ・紙くずの有価物化 ・金属くずの有価物化 ・自己中間処理（汚泥減量化）の推進			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり		
	排出量	別紙のとおり	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・有価物化（廃プラスチック、木くず等）の推進 ・自己中間処理（汚泥減量化）の推進			
産業廃棄物の分別に関する事項				
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・廃プラ、廃油、木くず等、処理ルート別に分別、保管している。			
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) ・分別の徹底			

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ 現状、自ら再生利用なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら再生利用を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 今後も自ら再生利用の予定なし		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	別紙の通り t	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 汚泥脱水機の適正運転の実施		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙の通り	
	自ら熱回収を行った 産 業 廃 棄 物 の 量	— t	t
	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	別紙の通り	t
	(今後実施する予定の取組) ・ 汚泥脱水機の適正運転の実施		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（令和3年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・現状、自ら埋立処分、海洋投入処分なし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	—	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) ・今後についても、自らの埋立処分、海洋投入処分の予定なし		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項			
①現状	【前年度（令和2年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う 業者への処理委託 量	別紙のとおり	t
	(これまでに実施した取組) ・現状の委託処理業者に対しては、引続き定期的（1回/年）に処理状 況の確認を、産廃情報ネットや各社HP公開情報により実施。 ・新規に処理業者と委託契約を締結する場合は、事前に、処理状況 を産廃情報ネットや各社HP公開情報で確認し、問題がない事を 確認した後に行う。		

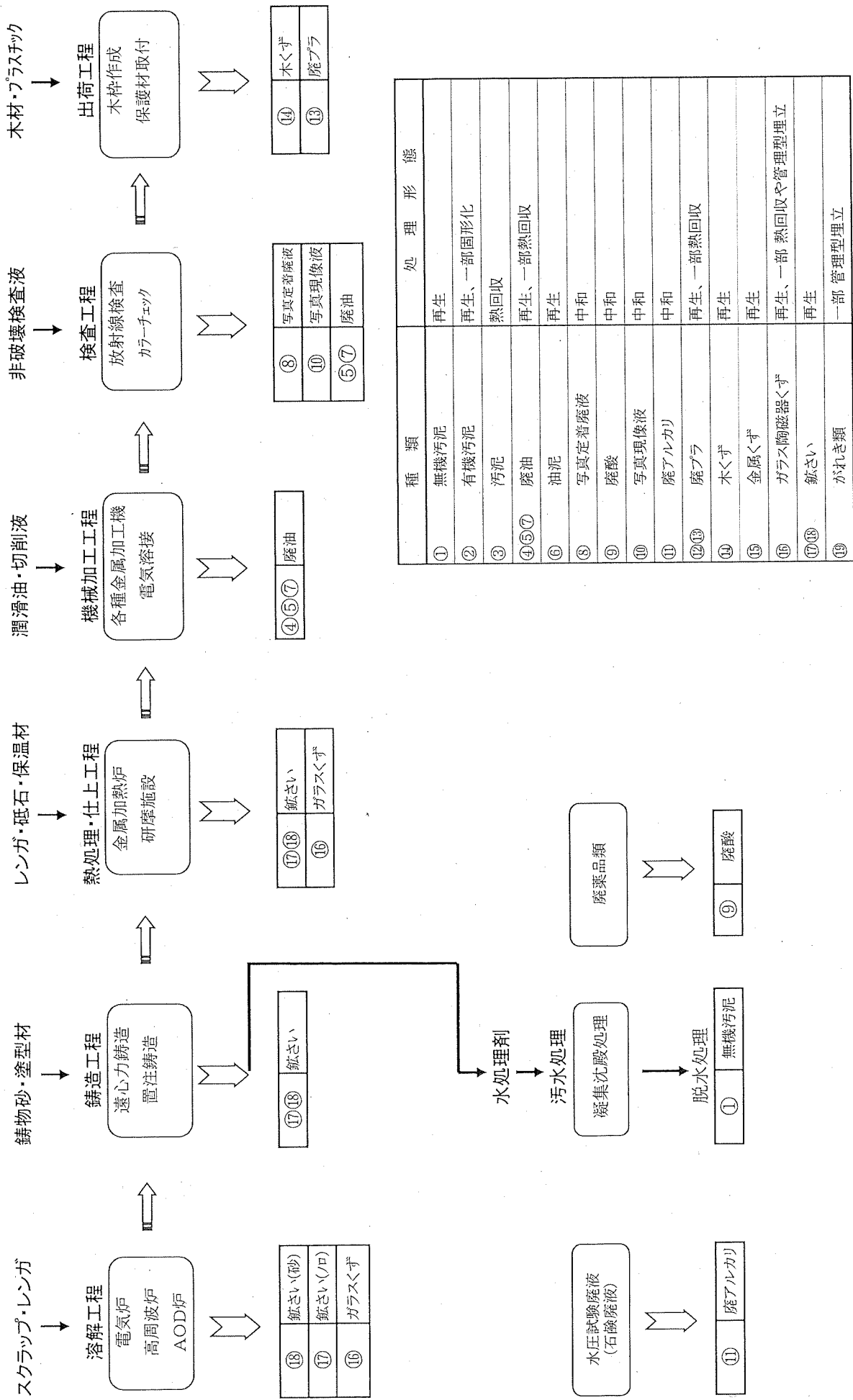
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙のとおり	
	全 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	別紙のとおり	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	別紙のとおり	t
	認定熱回収業者以 外の熱回収を行う 業者への処理委託 量	別紙のとおり	t
	(今後実施する予定の取組) ・新規の処理業者に委託する場合は、可能な限り優良認定業者を選定 する。 ・現状の委託処理業者に対しては、引続き定期的（1回/年）に処理状 況の確認を、産廃情報ネットや各社HP公開情報により実施。		
※事務処理欄			

【管理体制図】

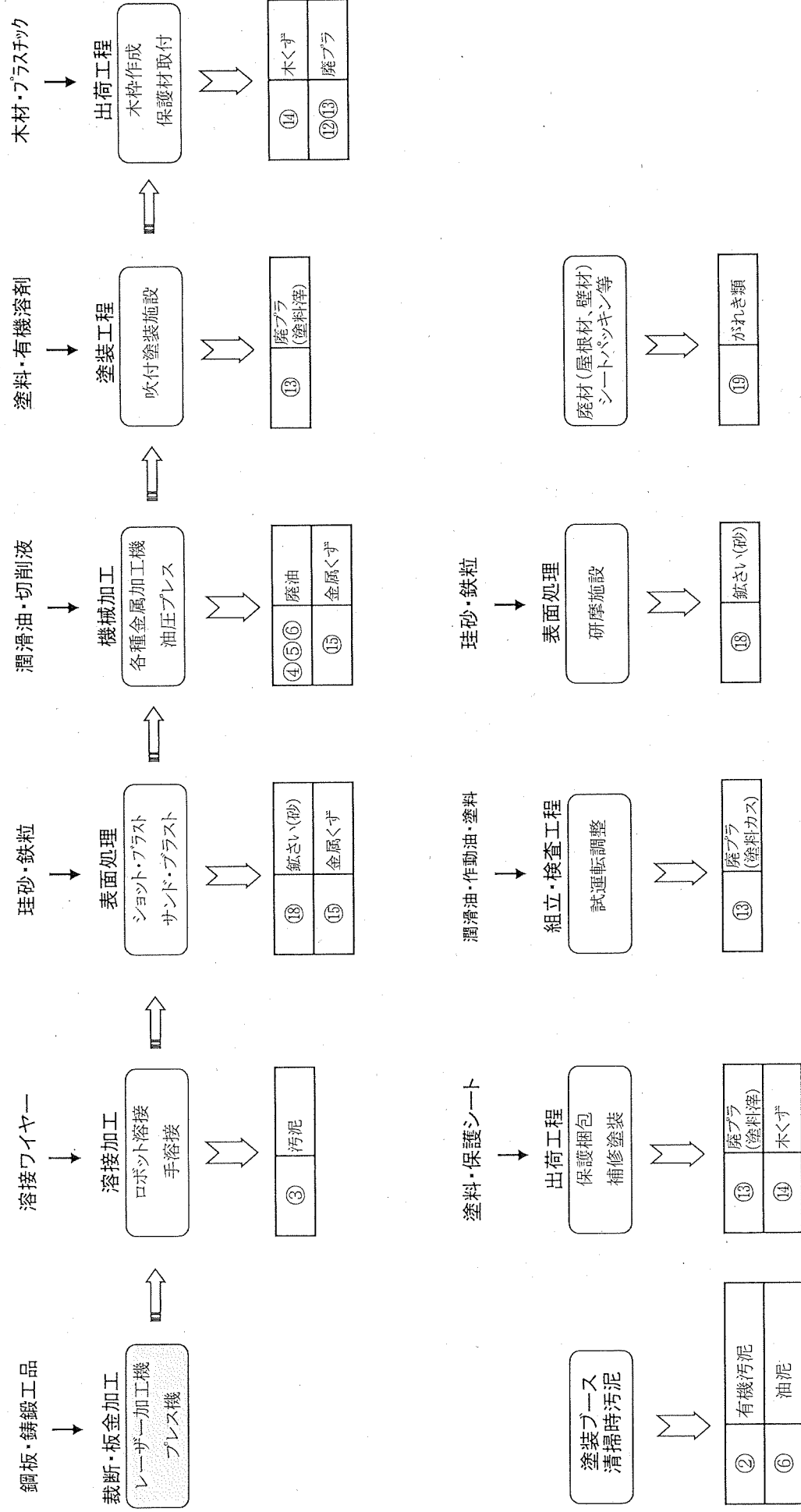


【各部署の役割】

部署	役割
統括部門	・処理業者への処理依頼 ・産業廃棄物の発生から処分に至るまでの帳簿等を作成して統括的に把握管理 ・産業廃棄物の発生工程、種類ごとの発生量、排出量及び性状等のチェック、集計等 ・行政に対する報告等 ・処理業者委託の委託契約、委託量、委託伝票(マニフェスト)等の管理 ・産業廃棄物の適正管理及び減量化等に関する社内啓発 ・廃棄物の資源化・減量化及び適正管理について検討し産業廃棄物処理計画の策定及びその実施 ・産業廃棄物の分析及び環境事象の分析、測定等
各製造部門	・産業廃棄物の種類、性状、発生量及び排出量等の把握 ・保管施設での保管量の把握等 ・上記内容を統括部門 に報告
経理部門	・産業廃棄物の適正処理費用の算出 ・委託料金の支払方法による業者管理 ・上記内容を統括部門 に報告



種 類	処 理 形 態
① 無機汚泥	再生
② 有機汚泥	再生、一部固形化
③ 汚泥	熱回収
④ ⑤ ⑦ 廃油	再生、一部熱回収
⑥ 油泥	再生
⑧ 写真定着廃液	中和
⑨ 廃酸	中和
⑩ 写真現像液	中和
⑪ 廃アルカリ	中和
⑫ ⑬ 廃プラ	再生、一部熱回収
⑭ 木くず	再生
⑮ 金属くず	再生
⑯ ガラス陶磁器くず	再生、一部熱回収や管理型埋立
⑰ ⑱ 鉍さい	再生
⑲ がれき類	一部管理型埋立



前 年 度 【 令 和 3 年（2021年） 度 】 実 績

提 出 者					
住 所	名 称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX
産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の住所	産業廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当部署の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号
大阪府枚方市中宮大池1-1-1	株式会社クボタ枚方製造所	生産技術部設備環境課		072-840-1021	072-890-2610

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況										(⑩ = ① - ② - ③ - ④ + ⑥ - ⑧ - ⑨ = ⑩ + ⑪ + ⑫ + ⑬)					② + ⑧ 自ら再生利用 を行った量(t)	③ + ⑨ 自ら埋立処分又は 海洋 投入処分を行った量(t)	
		①排出量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接埋立 処分又は海洋投 入処分した量(t)	④自ら中間処理した 量 (t)	⑤ ④のうち 熱回収を行った量 (t)	⑥自ら中間処理 した後の残さ量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した量 (t)	⑧自ら中間処理 した後再生利用 した量 (t)	⑨自ら中間処理した 自埋立処分又は海 洋投入処分した量(t)	⑩直接及び自ら 自己処理した後の 処理委託量 (t)	委 託 先 に よ る 区 分							
コード	名 称										⑪再生利用業者への 処理委託量(t)	⑫熱回収認定業者 への処理委託量(t)	⑬熱回収認定業者以外の 熱回収業者への処理委託量(t)	⑭その他の中間処理 委託量(t)	⑮埋立処分委託量(t)	⑯優良認定処理業者 への処理委託量(t)			
コード 参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の 種類ごとの量	①の量のうち、中間 処理をせず直接自ら 再生利用した量	①の量のうち、中間 処理をせず自ら埋立 処分又は海洋投入 処分した量	①の量のうち、自ら 中間処理した産業 廃棄物の当該中間 処理前の量	④の量のうち熱回収 を行った量	⑥の量から⑤の量 を差し引いた量	⑦の量のうち、自ら 利用し、又は他人に 売却した量	⑨の量のうち、自ら 埋立処分及び海洋 投入処分した量	中間処理及び最終処 分を委託した量	⑪の量のうち、処理業者 への再生利用委託量 (⑬、⑭除く)	⑫の量のうち、認定熱回収施 設設置者である処理業者へ の焼却処理委託量	⑬の量のうち、認定熱回収施設設置者以 外の熱回収を行っている処理業者への焼 却処理委託量	⑭の量のうち、委託 して最終等の中間 処理した量(⑭-⑮ を除く)	⑮の量のうち、直接 委託して埋立て最 終処分した量	⑯の量のうち、優良 認定処理業者への 委託処理量	②の量と⑧の量を 合計したもの(自動 計算)	③の量と⑨の量を合 計したもの(自動計 算)	
1 0220	①無機性汚泥	2,984			2,928		174	2,754		231	231					57	0	0	
2 0210	②有機性汚泥	104								104	104					104	0	0	
3 0200	③汚泥	68								68	7	62				68	0	0	
4 0311	④鉱物系廃油	71								71	71					71	0	0	
5 0310	⑤一般廃油	426								426	426					426	0	0	
6 0340	⑥油泥	4								4	4					4	0	0	
7 0300	⑦廃油	61								61	29	32				61	0	0	
8 0401	⑧写真定着廃液	4								4	4						0	0	
9 0400	⑨廃酸	0.017								0.017				0.017		0.017	0	0	
10 0501	⑩写真現像液	2								2	2						0	0	
11 0500	⑪廃アルカリ	19								19	19			0.318		19	0	0	
12 0601	⑫廃タイヤ	47								47	47						0	0	
13 0600	⑬廃プラスチック 類	245								245	240	4				224	0	0	
14 0800	⑭木くず	413								413	413					353	0	0	
15 1200	⑮金属くず	148								148	148						0	0	
16 1300	⑯ガラスくず等	495								495	479	15			1,370	479	0	0	
17 1401	⑰スラグ	563								563	563					471	0	0	
18 1400	⑱鉱さい	361								361	361					183	0	0	
19 1500	⑲がれき類	0.030								0.030					0.030	0.030	0	0	
20																	0	0	
合計		6,016	0	0	2,928	0	174	2,754	0	0	3,262	3,148	113	0.000	0.334	1	2,520	0	0

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。

今年度【令和4年（2022年）度】目標

提出者					
住所	名称	担当部署	担当者名	電話番号	FAX
大阪府枚方市中富大池1-1-1	株式会社クボタ枚方製造所	生産技術部 設備環境課		072-840-1021	072-890-2610

産業廃棄物の種類		計 画 の 実 施 状 況										（※＝①－②－③－④＋⑥－⑧－⑨＝⑩＋⑪＋⑫＋⑬＋⑭）					②＋⑧	③＋⑨
		①排出量	②自ら直接再生利用した量	③自己直接埋立処分又は海洋投入処分した量	④自ら中間処理した量	⑤④のうち熱回収を行った量	⑥自ら中間処理した後の残量	⑦自ら中間処理により減量した量	⑧自ら中間処理した後再生利用した量	⑨自ら中間処理した自埋立処分又は海洋投入処分した量	⑩直接及び自ら自己処理した後の処理委託量	委 託 先 に よ る 区 分			⑪埋立処分委託量	⑫優良認定処理業者への処理委託量	⑬自ら再生利用を行った量	⑭自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量
コード	名 称	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	(t)	⑪再生利用業者への処理委託量	⑫熱回収認定業者への処理委託量	⑬熱回収認定業者以外の熱回収業者への処理委託量	⑭その他の中間処理委託量	⑮埋立処分委託量	⑯の量のうち、優良認定処理業者への処理委託量	⑰の量と⑱の量を合計したもの（自動計算）	
コード参照	産業廃棄物の種類	発生した産業廃棄物の種類ごとの量	①の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量	①の量のうち、中間処理をせず自ら埋立処分又は海洋投入処分した量	①の量のうち、自ら中間処理した産業廃棄物の当該中間処理前の量	④の量のうち熱回収を行った量	⑥の量のうち、自ら中間処理を行った後の量	④の量から⑥の量を差し引いた量	⑧の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量	⑨の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量	中間処理及び最終処分を委託した量	⑪の量のうち、処理業者への再生利用委託量（※、⑮除く）	⑫の量のうち、認定熱回収施設設置者である処理業者への焼却処理委託量	⑬の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量	⑭の量のうち、委託して破砕等の中間処理した量（※～⑮を除く）	⑮の量のうち、直接委託して埋立て最終処分した量	⑯の量のうち、優良認定処理業者への委託処理量	⑰の量と⑱の量を合計したもの（自動計算）
1 0220	①無機性汚泥	2,955			2,899		172	2,726			229	229					56	0
2 0210	②有機性汚泥	103									103	103					103	0
3 0200	③汚泥	68									68	7	61				68	0
4 0311	④鉱物系廃油	70									70	70					70	0
5 0310	⑤一般廃油	422									422	422					422	0
6 0340	⑥油泥	4									4	4					4	0
7 0300	⑦廃油	60									60	29	31				60	0
8 0401	⑧写真定着廃液	4									4	4						0
9 0400	⑨廃酸	0.017									0.016				0.016		0.016	0
10 0501	⑩写真現像液	2									2	2						0
11 0500	⑪廃アルカリ	19									19	19			0.314		19	0
12 0601	⑫廃タイヤ	0									0	0						0
13 0600	⑬廃プラスチック類	242									242	238	4				222	0
14 0800	⑭木くず	409									409	409					349	0
15 1200	⑮金属くず	146									146	146						0
16 1300	⑯ガラスくず等	490									490	474	15			1,356	475	0
17 1401	⑰スラグ	557									557	557					466	0
18 1400	⑱鉱さい	357									357	357					181	0
19 1500	⑲がれき類	0.030									0.030					0.030	0.030	0
20																		0
合計		5,910	0	0	2,899	0	172	2,726	0	0	3,183	3,070	112	0.000	0.331	1	2,495	0

(注1)トン未満は原則として四捨五入。ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。